

公益社団法人計測自動制御学会 2021年度（令和3年度）事業計画書

公益社団法人第11期 通算第60期
2021年（令和3年）1月1日～12月31日

目 次

I. 2021 年度事業計画	
1. SICE ミッションと基幹事業	1
2. SICE 中期的課題と事業計画	2
II. 2021 年度事業計画付属明細書	
1. 各組織事業計画.....	3

SICE®

2020 年（令和2年）12 月

公益社団法人計測自動制御学会

東京都千代田区神田小川町 1-11-9 金子ビル 4 階

電 話 （03）3292-0314

FAX （03）3292-3145

URL <https://www.sice.jp/>

I. 2021 年度事業計画

1. SICE ミッションと基幹事業

2020 年度に理事会で策定された「SICE ミッションと基幹事業」を以下に示します。

SICE ミッションと基幹事業

ミッションステートメント

計測・制御・システムの中核学会として、

- ① 諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、
- ② 関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、社会的課題の抽出・解決に貢献する。

社会貢献:

計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出／提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。

会員への貢献:

計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。

国際貢献:

Annual Conference(AC)開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。

学協会組織への貢献:

国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

基幹事業

- ・Annual Conference(AC) 開催
- ・部門主催講演会、支部主催講演会等の開催
- ・部門・支部内各種事業および研究会活動
- ・各種セミナー・展示会・見学会開催
- ・関連国際会議、国内会議、展示会の共催、協賛
- ・学会誌、論文集発行
- ・web等による情報発信
- ・技術者教育と資格認定
- ・標準化活動
- ・各種学会賞贈呈
- ・その他

2. SICE 中期的課題と事業計画

2020 年度に理事会で策定された「SICE 中期的課題と事業計画」を以下に示します。

	中期的課題	事業計画	主担当組織	副担当組織
社会貢献	1. Society 5.0、SDGs 等社会的課題への SICE の取り組み	1.1 Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ 未来社会 WG 活動の継続	総務委	各部門・支部
		1.2 Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信	部門協、支部協、会誌委	各部門、支部
	2. 新技術への SICE の取り組み	2.1 AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 2.2 AI/IoT/ビッグデータ塾（仮称）の検討と企画	部門協、支部協、会誌委 教育委	各部門、支部 総務委（MATF）
3. SICE 人材像の再定義	3.1 計測・制御・システムの参照基準に基づき、システム思考と知識の利用ができる” SICE 人材像” の再定義。	総務委		
国際貢献	4. SICE の国際性向上	4.1 AC を通じた SICE 国際プレゼンスのさらなる向上の志向	AC 委 国際委	総務委（CATF）
		4.2 SICE が主催、共催する国際会議、および招聘/現地組織する国際会議（IMEK02021、IROS2022、IFAC2023）への開催支援	国際委	部門協、担当部門
		4.3 英文論文集の国際的評価基準（Citation Index, Impact Factor）獲得へ向けた活動の継続	論文委	総務委（PATF）
		4.4 国際規格の作成に向けた活動とそのプロモーション	国際標準化委	各部門、支部
会員への貢献	5. 企業会員のための施策の強化	5.1 企業会員のためのチュートリアル講演会の企画・実施 新 WG の設置	事業会員委	総務委（MATF）
		5.2 企業成果の効果的発信と論文発表形式の見直し	事業会員委、論文委	総務委（MATF）
	6. 会員への情報発信と教育支援	6.1 SICE 内相談窓口機能の設置検討（技術相談、講演相談等）	事業会員委	総務委（MATF）
		6.2 企業（賛助会員等）を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信	事業会員委	総務委（MATF）
		6.3 表彰制度（学会賞、部門賞、支部賞等）の全体調整と促進	学会賞委	
7. 周年行事の開催	7.1 SICE60 周年記念事業（Y60、2021 年）の実施と実行委員会への協力	総務委	企画委、AC 委	
学会基盤の強化	8. 講演会活動の充実	8.1 コンファレンス活動（AC、部門大会、部会研究会、支部大会等）の全体調整と見直し	AC 委、部門、支部	総務委（CATF）
	9. 出版活動の充実	9.1 和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大	論文委	総務委（PATF）
		9.2 会誌のあり方の見直し	会誌編集委	総務委（PATF）
	10. 部門・支部活動の充実	10.1 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続	支部協	
		10.2 新規特定用途準備資金の有効活用	財務委	部門協、支部協
	11. 会員数減少への対応	11.1 部門・支部行事への参加者情報（会員/非会員）の整備および参加者動向の分析	総務委	部門協、支部協
	12. 学会運営のスリム化と効率化	12.1 理事会、直轄委員会、事務局運営業務のスリム化と効率化	総務委	
	13. SICE の収支改善と財務基盤の強化	13.1 事業および業務適正化による収支改善と財務基盤の強化	財務委	総務委
14. 継続事業とコンプライアンス	14.1 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守	全組織		
	14.2 新型コロナウイルス感染への的確な対応	全組織		

II. 2021 年度事業計画付属明細書

1. 各組織事業計画

各委員会、部門、支部が策定した「2021 年度計画（・実施報告）」を以下に示します。

番号	組織名	担当理事、部門長、支部長
01	総務委員会	業務執行理事 伊藤(邦)委員長、山澤副委員長
02	財務委員会	業務執行理事 山本(秀)委員長、望山副委員長
03	企画委員会	業務執行理事 藤田委員長(副会長)、伊藤(邦)副委員長
04	学会賞委員会	業務執行理事 田中委員長(副会長)
10	会誌出版委員会	業務執行理事 大重委員長、倉林副委員長
11	論文集委員会	業務執行理事 石川委員長 新妻副委員長(和)、伊藤(博)副委員長(英)
12	Annual Conference (AC) 委員会	業務執行理事 金子委員長
13	国際委員会	業務執行理事 三浦委員長、蛭原副委員長
14	国際標準化委員会	業務執行理事 藤田委員長(副会長)
15	事業会員サービス委員会	業務執行理事 長谷川委員長、角龍副委員長
16	教育・認定委員会	業務執行理事 佐藤委員長
30	部門協議会	業務執行理事 山本(大)議長、玉置副議長
31	計測部門	高山部門長
32	制御部門	藤崎部門長
33	システム・情報部門	高橋部門長
34	システムインテグレーション部門	野田部門長
35	産業応用部門	小池部門長
36	ライフエンジニアリング部門	塩澤部門長
50	支部協議会	業務執行理事 鈴木議長、山田副議長
51	北海道支部	近野支部長
52	東北支部	本間支部長
53	中部支部	金井支部長
54	北陸支部	小柳支部長
55	関西支部	羅支部長
56	中国支部	西村支部長
57	四国支部	杉野支部長
58	九州支部	松尾支部長

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	総務委員会	担当	伊藤(邦)委員長、山澤副委員長
-----	-------	----	-----------------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会の開催(14.1) ・理事会、社員総会、その他イベントの開催計画案の作成(14.1, 1.1, 3.1, 7.1,) ・事務局業務の適性化, 強化(12.1, 11.1, 13.1) ・学会運営の円滑化(12.1, 4.1, 4.3, 5.1, 5.2, 8.1, 9.1, 9.2) ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1) 総務委員会の開催 2019 年度の中頃から高頻度（週 1 回程度）での臨時開催を行い効率的に問題解決ができた実績を踏まえ、適切な頻度（週 1 回程度～月 2 回程度）で開催できるように計画する。計画を適宜見直しながら、必要な対処が迅速に行えるよう、総務委員会（及び個々の特定の課題解決のための合同 WG）の活動を行う。</p> <p>2) 理事会、社員総会、その他イベントの開催計画案の作成と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催回数の削減に伴い、年 5 回の開催（2 月（社員総会）、4 月、9 月、12 月（翌年事業計画・予算）、1 月（事業報告・決算））に合わせ日程を計画する。上期にはこのうち、2 月（社員総会）、4 月の計画と実施をする。 ・社員総会を実施する ・Y60 関連イベントについて実行委員会の活動を支援する ・その他、必要に応じてイベントを計画する <p>3) 事務局業務の適性化, 強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員のフォロー ・事務局員の業務分担及び業務量の適性化 ・事務局員とのコミュニケーション向上 <p>4) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会運営の効率化 ・各委員会, 部門および支部の活動フォロー ・必要に応じて個々の特定の課題解決のための合同 WG の設置、早期の問題解決 <p>【想定できる合同 WG】 論文集・総務合同 WG：和文論文誌及び英文論文誌の外注化移行に伴う事務局体制の整備 総務・企画合同 WG：拡大理事 WS の計画と実施及び CATE, PATF, MATF の答申内容への対応のうち事務局運営体制の変更など総務委員会が分担すべき内容の計画と実施</p> <p>5) 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの遵守</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1) 総務委員会の開催 2019 年度の中頃から高頻度（週 1 回程度）での臨時開催を行い効率的に問題解決ができた実績を踏まえ、適切な頻度（週 1 回程度～月 2 回程度）で開催ができるように計画する。計画を適宜見直しながら、必要な対応が迅速に行えるよう、総務委員会（及び個々の特定の課題解決のための合同 WG）の活動を行う。</p> <p>2) 理事会、社員総会、その他イベントの開催計画案の作成と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催 下期には 9 月、12 月（翌年事業計画・予算）、1 月（事業報告・決算）の計画と実施をする。 ・社員総会の実施準備をする ・Y60 関連イベントについて実行委員会の活動を支援する ・その他、必要に応じてイベントを計画する <p>3) 事務局業務の適性化, 強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員のフォロー ・事務局員の業務分担及び業務量の適性化 ・事務局員とのコミュニケーション向上 <p>4) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会運営の効率化 ・各委員会, 部門および支部の活動フォロー ・必要に応じて個々の特定の課題解決のための合同 WG の設置、早期の問題解決 <p>【想定できる合同 WG】 論文集・総務合同 WG：和文論文誌及び英文論文誌の外注化移行に伴う事務局体制の整備 総務・企画合同 WG：拡大理事 WS の計画と実施及び CATE, PATE, MATF の答申内容への対応のうち事務局運営体制の変更など総務委員会が分担すべき内容の計画と実施</p> <p>5) 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの遵守</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	財務委員会	担当	山本(秀)委員長、望山副委員長
-----	-------	----	-----------------

2021 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分

- ・新規特定用途準備資金の有効活用（10.2）
- ・事業および業務適正化による収支改善と財務基盤の強化（13.1）
- ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1）
- ・新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末決算・事業報告作成（1～3 月） 2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備（3 月） 3. 期末決算・事業報告 内閣府提出（3 月末） 4. 新役員変更届内閣府提出（4 月末） 5. 上期活動計画の見直し（4～6 月） 6. 中間決算（6 月末） <p>【財務基盤強化、業務見直し・効率化推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 特定費用準備資金（国際・オープンサイス）の運用確認、見直し・修正を適宜実施 8. 財務可視化（SICE Finance at a Grance） 9. 財務構造の見直し （受取会費の法人・公益配分比率、等） 10. 収益事業新設の検討 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期活動計画・中間決算結果報告（7 月） 2. 事業計画策定・予算策定（7～10 月） 3. 事業計画・予算レビュー（11 月） 4. 事業計画・予算内閣府提出準備（11～12 月） 5. 事業計画・予算内閣府提出（12 月末） 6. 期末決算（12 月） <p>【財務基盤強化、業務見直し・効率化推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 特定費用準備資金（国際・オープンサイス）の運用確認、見直し・修正を適宜実施 8. 財務可視化（SICE Finance at a Grance） 9. 財務構造の見直し （受取会費の法人・公益配分比率、等） 10. 収益事業新設の検討 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	企画委員会	担当	藤田委員長(副会長)、 伊藤(邦)副委員長
-----	-------	----	--------------------------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> • SICE ミッションの策定と各組織への展開 • SICE60 周年記念事業 (Y60, 2021 年) の実施と実行委員会への協力(7.1) • 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) • 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>委員会開催 委員の決定 委員会開催 2～3 回</p> <p><u>本年度は、各 TF の答申に対応した実行計画案の作成や、拡大理事ワークショップの企画運営を、総務・企画合同委員会にて実施する</u></p> <p>1. コア事業に関する CATF,PATF,MATF の答申内容に基づく実行計画案の作成</p> <p>2.2021 年度拡大理事ワークショップの準備 開催形態等の実施計画策定</p> <p>3.SICE 事業計画「7.1 SICE60 周年記念事業 (Y60、2021 年) の実施と実行委員会への協力」に基づき、副担当組織として総務委員会のリーダーシップのもと Y60 (SICE60 周年記念事業) 実行委員会へ協力する (総務委、<u>企画委</u>、会誌委、AC 委)</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会開催：2～3 回</p> <p>1.2021 年度拡大理事ワークショップを準備し、実施する。</p> <p>2.拡大理事ワークショップの討議結果、及び各 TF の答申結果等を 2022 年度 SICE 中期的課題と事業計画へ展開する。</p> <p>3.各組織へ 2022 年度事業計画の提出を依頼する。</p> <p>4.各組織の 2022 年度事業計画を確認し、理事会へ提案する。</p> <p>5.SICE 事業計画「7.1 SICE60 周年記念事業（Y60、2021 年）の実施と実行委員会への協力」に基づき、副担当組織として総務委員会のリーダーシップのもと Y60（SICE60 周年記念事業）実行委員会へ協力する （総務委、企画委、会誌委、AC 委）</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	学会賞委員会	担当	田中委員長(副会長)
-----	--------	----	------------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・他団体表彰への SICE 推薦制度の整理と検討 (6.3) ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1) 2020 年度学術奨励賞の選考作業および結果の Web 掲載</p> <p>2) (他団体表彰) 2021 年度油空圧機器技術振興財団論文顕彰への推薦論文選考作業</p> <p>3) 2021 年度学会賞 (論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞) の選考作業</p> <p>4) (他団体表彰) 2021 年度 FA 財団論文賞への推薦論文選考作業</p> <p>5) (他団体表彰) 島津科学技術振興財団論文賞への推薦作業</p> <p>6) (功績賞選考委員会) 2021 年度功績賞授与候補者選考作業</p> <p>7) (フェロー選考委員会) 2021 年度フェロー称号授与候補者選考作業</p> <p>8) SICE 2021 Annual Conference Award 選考作業</p> <p>9) (随時) 部門等からの SICE Young Authors Award 募集要項提案の検討・承認および理事会への提案</p> <p>10) (随時) 各部門・部会等が所掌する研究奨励賞等の Web 掲載作業</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1) SICE 2021 Annual Conference Award 選考作業</p> <p>2) (随時) 部門等からの SICE Young Authors Award 募集要項提案の検討・承認および理事会への提案</p> <p>3) 学会賞委員会、各部門、各支部が所掌する賞の整理と見直し</p> <p>4) (随時) 各部門・部会等が所掌する研究奨励賞等の Web 掲載作業</p> <p>5) 各賞の選考作業の見直し</p> <p>6) 2021 年度学術奨励賞の選考作業</p> <p>7) 2022 年度学会賞（論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞）受賞候補の推薦募集</p> <p>8) 2022 年度功績賞授与候補者の推薦募集</p> <p>9) 2022 年度フェロー称号授与候補者の推薦募集</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	会誌出版委員会	担当	大重委員長、倉林副委員長
-----	---------	----	--------------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや会誌発行におけるアフターコロナ社会に関する積極的情報発信 ・ SICE60 周年企画に関する積極的情報発信 ・ 会員に対する SICE 活動の告知・理解に資する積極的情報発信 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1.学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特集企画・記事の公募、タイムリーな特集記事出版の検討。 ・ 企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解説の充実 ・ 多面的な側面から SICE の研究領域を捉えた特集の充実 ・ 企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事の充実に向けた体制検討 ・ 女性研究者、若手研究者(40 歳以下)を紹介する“FACE the future”の人選と継続 <p>2.新テクノロジーシリーズの出版・企画継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度に企画・公募した新テクノロジーシリーズの出版。 ・ 新たな公募テーマの企画 ・ 出版継続体制構築に向けた出版担当委員選出方法を議論（総務委員会と連携） <p>3.学会誌のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特集企画回数を適正化し、持ち込み特集企画・投稿原稿・SICE 活動報告等のタイムリーな企画導入活性化を検討する ・ 「執筆のしおり」「チェックリスト」の見直し ・ 電子出版化・冊子合本化など会誌出版の在り方を根本的に検討する（PATF の答申に沿って検討） <p>4.会誌出版体制の長期的持続のための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事・委員の選出方法、部門に対する負荷分担の在り方等について、会誌出版体制の長期的持続可能性の点から検討する（PATF の答申に沿って検討） 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1.学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y60 企画の出版 ・企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解説の充実 ・多面的な側面から SICE の研究領域を捉えた特集の充実 ・企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事のさらなる拡充 ・女性研究者、若手研究者(40 歳以下)を紹介する“FACE the future”の人選と継続 <p>2.新テクノロジーシリーズの出版・企画継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に企画・公募した新テクノロジーシリーズの出版。 ・新たな公募テーマの応募案件の推進 ・出版継続体制構築に向けた出版担当委員選出方法を議論（総務委員会と連携） <p>3.学会誌のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特集企画回数を適正化し、持ち込み特集企画・投稿原稿・SICE 活動報告等のタイムリーな企画導入活性化を検討する ・「執筆のしおり」「チェックリスト」の見直し ・電子出版化・冊子合本化など会誌出版の在り方を根本的に検討する（PATF の答申に沿って検討） <p>4.会誌出版体制の長期的持続のための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事・委員の選出方法、部門に対する負荷分担の在り方等について、会誌出版体制の長期的持続可能性の点から検討する（PATF の答申に沿って検討） 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	論文集委員会	担当	石川委員長 新妻副委員長(和)、伊藤副委員長(英)
-----	--------	----	------------------------------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文論文誌の新 T&F 社体制下での活動・認知度促進、国際的評価基準 (ESCI、Citation Index 等) 獲得へ向けた活動の継続 ・ 和文論文誌の新事務体制下での活動、業務運営の定常化 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 英文誌 SICE JCMSI 誌の発行</p> <p>1-1 Taylor&Francis 社 (以下 T&F 社) による OpenAccess 誌となった新体制下での発行を軌道に乗せ、論文のサーキュレーションを安定させる。特に SICE2020 AC 特集号の着実な発行を発展させる。</p> <p>1-2 論文誌の国際的地位向上のためのインパクトファクター・Index 取得に向けて、編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。</p> <p>1-3 論文誌の OA 化に伴い、国際的な信頼性・健全性認知を担保する (predatory journal と誤認されない) ため、OADJ への登録の取り組みを T&F 社と協力のもとで検討、実施する。</p> <p>1-4 会員へ英文誌投稿を支援するサービス (英文チェック、セミナーなど) 提供を検討する。</p> <p>1-5 SICE の発展を支える論文誌となるよう、事務局の和文英文共通の論文集担当者と、編集と出版を担当する EiC と T&F との連携体制をつくる。</p> <p>2. 和文誌 計測自動制御学会論文集の発行</p> <p>2-1 事務局体制の引き継ぎ、編集出版にかかる事務局機能の一部外注化方針を早期に確定させ、新体制下での発行を軌道に乗せる。</p> <p>2-2 2020 年度の投稿数低下がコロナ禍による一時的なものか、永続的な原因があるかを見極め、対策を検討する。</p> <p>3. 論文集委員会の開催</p> <p>3-1 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の戦略検討を深める (投稿・査読システムの運用改善による査読期間の短縮、エディタを中心とした採用基準・査読方針の見直し。適正な採択基準の徹底による投稿数・掲載数の増加など。)</p> <p>3-2 時代に即した論文出版のあり方を考え、紙媒体の発行の是非について検討を行う。</p> <p>3-3 プレプリントサーバへの対応について、電子出版化独自の課題について関連直轄委員会と連携しながら検討する。</p> <p>4. 論文セミナー実施</p> <p>4-1 新たな発行形態の英・和文誌について、会員からの認知度・関心を向上させるため、周知活動を行う。</p> <p>4-2 昨年の開催状況を踏まえ、開催形態、内容、実施回数等の見直しを図る。特に、各種会合がオンライン実施となることを視野に入れ、論文セミナーもオンライン、随時開催などニューノーマルの実施形態を積極的に試みる。</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1. 英文誌 SICE JCMSI 誌の発行</p> <p>1-1 海外からの Editor を招聘して Editorial Board の国際化を進めるとともに、これまでのように部門と Editor を 1:1 対応させるのではなく、担当分野・キーワードを付与する体制を検討する。また、Editor の主体性と役割を増強し、各分野の編集方針・学術的發展について、EiC とともに検討していく。</p> <p>1-2 SICE2021 AC 特集号に加えて、各分野・Editor 主導の特集号企画を推進する。また、T&F 社の掲載料 waiver 制度を活用して、招待論文の企画も積極的に行う。</p> <p>1-3 そのほか、論文誌の国際的地位向上のためのインパクトファクター・Index 取得活動については継続的な検討、改善を進める。</p> <p>2. 和論文誌の発行</p> <p>2-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p> <p>3. 論文集委員会の開催</p> <p>3-1. 9 月を目処に論文集委員会・和英編集委員会を開催し、上半期の実施結果を踏まえて改善点を検討する。</p> <p>4. 論文セミナー実施</p> <p>4-1. 上半期の検討結果を踏まえて、セミナーを開催する。</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	Annual Conference (AC) 委員会	担当	金子委員長
-----	----------------------------	----	-------

2021 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> ・ AC を通じた SICE 国際プレゼンスのさらなる向上の志向 (4.1) ・ SICE60 周年記念事業 (Y60, 2021 年) の実施と実行委員会への協力(7.1) ・ コンファレンス活動 (AC,部門大会,部会研究会,支部大会等) の全体調整と見直し(8.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SICE2021 (東京) の実施に向けた準備 <ol style="list-style-type: none"> 1-1 論文採択戦略の議論 1-2 開催地の文化や観光情報なども発信するなど、PR 方法の改善・強化を実施 1-3 日本語イベント (WS や企業展示) を企画し、賛助会員へ宣伝、展示は出展勧誘も実施 1-4 企業 (賛助会員) 向け企画の企画・準備 1-5 SICEWEEK2021 の企画・準備 1-6 SICE60 周年記念事業の実施に向けた実行委員会への協力 2. SICE2022 (熊本) の準備、広報 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 SICE2022 の準備、実行委員会等の決定 2-2 SICE2021 バンケット等での広報 3. SICE2020 (オンライン) の実績解析、問題点の把握と改善 4. SICE2023 以降の開催についての検討 <ol style="list-style-type: none"> 4.1 開催地選定の方法の改善の是非・検討 4.2 オンライン・ハイブリッド等, AC の開催形態についての検討 (継続) 5. 支部・部門における, 実施に関わる負荷分散の検討 6. AC 参加者データベースの構築と活用の検討 (継続) 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SICE2021（東京）の実施 <ol style="list-style-type: none"> 1-1 日本語イベント（WS や企業展示）の実施 1-2 企業（賛助会員）向け企画の実施 1-3 SICEWEEK2021 の実施 1-4 SICE60 周年記念事業を実行委員会に協力して実施 2. SICE2022（熊本）の準備、広報（継続） <ol style="list-style-type: none"> 2-1 SICE2022 の準備、実行委員会等の決定 2-2 SICE2021 バンケット等での広報 3. SICE2021（東京）の実績解析、問題点の把握と改善 4. SICE2023 以降の開催についての検討 <ol style="list-style-type: none"> 4.1 開催地選定の方法の改善の是非・検討 4.2 オンライン・ハイブリッド等、AC の開催形態についての検討（継続） 5. 支部・部門における、実施に関わる負荷分散の検討（継続） 6. AC 参加者データベースの構築の活用と検討（継続） 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	国際委員会	担当	三浦委員長、蛭原副委員長
-----	-------	----	--------------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ AC を通じた SICE 国際プレゼンスのさらなる向上の志向 (4.1) ・ SICE が主催,共催する国際会議,および招聘/現地組織する,国際会議(IMEKO2021,IROS2022,IFAC2023)への開催支援 (4.2) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>① 海外学会イベントの共催・協賛管理</p> <p>② MOU 締結状態の維持、新規締結検討（適宜） （更新時：内容検討/更新可否の議論）</p> <p>③ SICE AC2021 の Tech. Co.締結/ IEEE Conference Application 登録作業（w/事務局）</p> <p>- Tech. Co. 依頼発信→受諾受領 IEEE CSS/RAS/IES, 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTL, CACS, ISA, JEMIMA</p> <p>- IEEE Conference Application 登録 （IEEE/CSS/RAS/IES との Tech. Co.締結完了）</p> <p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>① 各種国際会議への SICE 派遣代表者決定, 主な派遣先：ASCC, ECTI-CON, CCC, ICCAS, IECON, IROS, CACS, CDC, SII 等</p> <p>② 派遣先との調整（派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等）</p> <p>1-1-3 海外学会・団体との関係維持・強化</p> <p>① 各種国際会議への SICE AC2021 案内発信</p> <p>② 関係維持管理の効率化（w/事務局）/ 関係強化方法、SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法等検討</p> <p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2021 対応着手</p> <p>① VIP Reception 計画検討開始（Invitation 案, 宛先リスト作成（事務局））</p> <p>② Friendship Lunch Meeting 等の計画検討開始 （Invitation 案, 招待客リスト作成（事務局））</p> <p>③ STGA 準備（募集事項検討・WEB 掲載依頼・審査委員決定）</p> <p>1-3 国際団体への協力活動</p> <p>1-3-1 IMEKO 委員会との連携 （日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携）</p> <p>① IMEKO 委員会参加</p> <p>② IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>③ IMEKO2021 世界大会(横浜)に向けた活動支援 （国際化準備資金活用）</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>④ 計測部門との連携</p> <p>1-3-2 IFAC 委員会との連携</p> <p>① IFAC2023 実行委員会参加</p> <p>② IFAC2023 世界大会(横浜)開催支援 (体制助言、国際化準備資金活用)</p> <p>③ IFAC 関連会議活動広報</p> <p>④ 制御部門との連携</p> <p>1-3-3 IROS2022 に向けた活動支援</p> <p>① IROS2022(京都)実行委員会との連携・活動支援 (国際化準備資金活用)</p> <p>② SI 部門との連携</p> <p>2-1 SICE の国際プレゼンス向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>① アジア地区他学会カンファレンス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - Joint Session 検討支援 (韓国 ICROS, タイ ECTI, 中国 TCCT) <p>2-1-2 海外コミュニティ活動支援</p> <p>① SICE2021 コミュニティ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - コミュニティ WS 支援 (AC 委, Y60) <p>ASEAN 地域学生支援 (AC 委, 実行委員会, Y60)</p>	

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>① 海外学会イベントの共催・協賛管理</p> <p>② MOU 締結状態の維持、新規締結検討（適宜） （更新時：内容検討/更新可否の議論）</p> <p>③ SICE AC2022 の Tech. Co.締結/ IEEE Conference Application 登録作業（w/事務局） - Tech. Co. 依頼発信作業着手 IEEE CSS/RAS/IES, 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI, CACS, ISA, JEMIMA</p> <p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>① 各種国際会議への SICE 代表者派遣, 報告書受理・理事会報告, 主な派遣先: ASCC, ECTI-CON, CCC, ICCAS, IECON, IROS, CACS, CDC, SII 等</p> <p>② 派遣先との調整（派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等）</p> <p>1-1-3 海外学会・団体との関係維持・強化</p> <p>① 各種国際会議への SICE AC 2021/2022 案内早期発信</p> <p>② 関係維持管理の効率化（w/事務局）/ 関係強化方法、SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法等検討</p> <p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2021 対応</p> <p>① Invitation の早期発行（ビザ必要国）</p> <p>② VIP Reception 実施（プログラム, 司会等）</p> <p>③ Friendship Lunch Meeting 実施（記念品準備, 司会, 協力関係確認（SICE 事務局と協力）） - ICROS, ECTI, TCCT 等</p> <p>④ STGA 選考・表彰（応募受理・整理（事務局）、審査・選考、表彰状（事務局）、Award Ceremony 司会）</p> <p>1-3 国際団体への協力活動</p> <p>1-3-1 IMEKO 委員会との連携 （日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携）</p> <p>① IMEKO 委員会参加</p> <p>② IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>③ IMEKO2021 (横浜)に向けた活動支援（国際化準備資金の活用等）</p> <p>④ 計測部門との連携</p> <p>1-3-2 IFAC 委員会連携</p> <p>① IFAC2023 実行委員会への参加</p> <p>② IFAC2023 世界大会(横浜)開催支援（体制助言、国際化準備資金活用）</p> <p>③ IFAC 関連会議活動広報</p> <p>④ 制御部門との連携</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>1-3-3 IROS2022 に向けた活動支援</p> <p>① IROS2022(京都)実行委員会との連携・活動支援 (国際化準備資金活用)</p> <p>② SI 部門との連携</p> <p>2-1 SICE の国際プレゼンス向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>① アジア地区他学会カンファレンス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - Joint Session 検討支援 (韓国 ICROS, タイ ECTI, 中国 TCCT) <p>2-1-2 海外コミュニティ活動支援</p> <p>② SICE2021 コミュニティ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - コミュニティ WS 支援 (AC 委, Y60) - ASEAN 地域学生支援 (AC 委, 実行委員会, Y60) 	

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	国際標準化委員会	担当	藤田委員長(副会長)
-----	----------	----	------------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・国際規格の作成に向けた活動とそのプロモーション (4.4) ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>委員会開催：2 回以上予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SICE 2021 (9 月：上智大学) に向けた OS 企画の策定 (実行、運営は下期) 2) 国際標準化動向の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・AC の論文の調査 ・リエゾン委員との情報交換 3) 国際標準化関連セミナーの開催検討 4) 国際標準化賞の推薦 功績賞と奨励賞の候補者についてその妥当性を評価・審議し、適当と認められた者を学会賞委員会に推薦する。 5) JIS 規格の定期見直しと改廃の検討 6) 国際標準化の課題検討 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会開催：2 回以上予定</p> <p>1) SICE 2021（9 月：上智大学）での OS を企画・実施する。</p> <p>2) 国際標準化動向の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・AC の論文の調査 ・リエゾン委員との情報交換 </p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 （上期にて実施）</p> <p>5) JIS 規格の定期見直しと改廃の検討</p> <p>6) 国際標準化の課題検討</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	事業会員サービス委員会	担当	長谷川委員長、角龍副委員長
-----	-------------	----	---------------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・研究機関から企業への研究成果共有を行うチュートリアル講演会の企画・実施 ・ 企業から学生・研究者への計測・制御技術活用発信機会の企画・実施 ・ 工業会・他学会との連携による、計測と自動制御研究成果の広報活動 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>委員会活動：3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業会員のための施策の強化 ・ 新WG によるチュートリアル講演会の企画 ・ ◆会員への情報発信と教育支援 ・ 「安全のための計測・制御・システムを考える会」の活動 ・ 体験セミナー・企業見学会 年間計画策定(3 月) －準備, 実施, フォローアップ ・ 産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携) －実施, フォローアップ ・ その他友好団体との連携 －男女共同参画学協会連絡会への参加 －夏の学校出展準備 －会員増強施策の検討 ・ SNS コンテンツの拡充フォロー ・ ◆広報・リエゾン機能の強化活動 ・ ISCIE 連携 －ステアリング会議(5 月) －SSH 出展準備 ・ 横幹連合連携 －定時総会(4 月) ・ その他学会連携 －他学会行事協賛(随時) 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会活動：3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業会員のための施策の強化 ・新 WG によるチュートリアル講演会の企画 ◆会員への情報発信と教育支援 ・「安全のための計測・制御・システムを考える会」の活動 <ul style="list-style-type: none"> －定期的な会合 ・体験セミナー・企業見学会 <ul style="list-style-type: none"> －年間計画策定フォロー（準備，実施） ・産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携) <ul style="list-style-type: none"> －実施 －フォローアップ ・その他友好団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> －男女共同参画学協会連絡会への参加 －夏の学校出展（8 月） ・SICE 内相談窓口機能の設置に向けた具現化 ・ ・会員増強施策の検討まとめ ・ ・SNS コンテンツの拡充フォロー ・ ◆広報・リエゾン機能の強化活動 ・ISCIE 連携 <ul style="list-style-type: none"> －ステアリング会議(11 月) －SSH 出展 ・横幹連合連携 ・その他学会連携 <ul style="list-style-type: none"> －他学会行事協賛(随時) ・JEMIMA 等工業会との連携 <ul style="list-style-type: none"> －JEMIMA-SICE 連携会議(3 月) －IIFES 2021（東京 2022.1.26~28）へのブース参加 ・日本学術会議と連携（多分野応用小委員会） <ul style="list-style-type: none"> －自動制御連合講演会 開催協力 ・リエゾン機能を持つ組織（委員会、WG 等）の検討まとめ 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	教育・認定委員会	担当	佐藤委員長
-----	----------	----	-------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・ AI/IoT/ビッグデータ塾(仮称)の検討と企画 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WG 会合 (3, 5 月) ・ 試験問題の改訂 ・ オンライン実施の日程確定・準備 ・ 受験者増対策の検討, 受験者勧誘 学生受講者のインセンティブとして事業会員サ委員会と連携して「産業応用セミナー」を実施する <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロセス新塾 2020 スクーリング(1 月・第 4 回目) ・ プロセス新塾 2020 スクーリング(2 月・第 5 回目) ・ プロセス新塾 2020 スクーリング(3 月・第 6 回目) ・ プロセス新塾 2020 スクーリング(4 月・第 7 回目) ・ プロセス新塾 2020 スクーリング(5 月・第 8 回目) <ul style="list-style-type: none"> ・ WG 会合 ・ 教育内容を検討 (通年) ・ 次年度計画の検討 <p>3. CPD ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポイント集計と表彰者決定 <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集 (通年) ・ 審査支援 (通年) <p>5. 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業エンジニアの学び直しの場の提供 ・ SICE IoT 塾 (仮称) を企画 ・ 高等教育機関への学び直しの新たな場 ・ 4 月開校に向け, WG 会合 (1,2,3 月) 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WG 会合(7,9 月) ・オンライン実施の日程確定・準備 ・受験者増対策の検討, 受験者勧誘 学生受講者のインセンティブとして事業会員サ委員会と連携して「産業応用セミナー」を実施する <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新塾 2021 実施計画の策定 ・WG 会合 ・教育内容を検討 (通年) <p>3. CPD ポイント 表彰式・賞状授与</p> <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 (通年) ・審査支援 (通年) <p>5. 新教育プログラム事業計画検討 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業エンジニアの学び直しの場の提供 ・SICE IoT 塾 (仮称) を企画 ・高等教育機関への学び直しの新たな場 ・基礎理論・基礎技術講座の開講 (9 月) 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	部門協議会	担当	山本(大)議長、玉置副議長
-----	-------	----	---------------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) ・AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・SICE が主催, 共催する国際会議, および招聘/現地組織する国際会議 (IMEKO2021, IROS2022, IFAC2023)への開催支援 (4.2) ・新規特定用途準備資金の有効活用 (10.2) ・部門・支部行事への参加者情報(会員/非会員)の整備および参加者動向の分析 (11.1) ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p><u>1. 部門活動の促進サポート(13.1)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 回の部門協議会を開催 <p><u>2. 支部協議会との連携(13.1、8.2)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部協議会への参加と情報共有 ・合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討 <p><u>3. 企画委員会などとの連携強化(2.1、10.2、13.1、8.2)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告 <p><u>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し(1.2、2.1、10.2、8.1、8.2、11.1)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員情報 DB 整備、部門ごとの名簿の整理 ・各 WG と専門委員会の活動状況把握 <p><u>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討(13.1)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部門における活動の把握 ・各部門から SICE 本体選出委員の把握 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p><u>1. 部門活動の促進サポート(13.1)</u> ・ 3 回の部門協議会を開催</p> <p><u>2. 支部協議会との連携(13.1、8.2)</u> ・ 支部協議会への参加と情報共有 ・ 合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討</p> <p><u>3. 企画委員会などとの連携強化(2.1、10.2、13.1、8.2)</u> ・ 財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告</p> <p><u>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し(1.2、2.1、10.2、8.1、8.2、11.1)</u> ・ 会員情報 DB 整備、部門ごとの名簿の整理 ・ 各 WG と専門委員会の活動状況把握</p> <p><u>5. AC 活性化、OS 企画・貢献(1.2、2.1、8.1、8.2、11.1)</u> ・ 各部門で個別実施</p> <p><u>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討(13.1)</u> ・ 各部門における活動の把握 ・ 各部門から SICE 本体選出委員の把握 ・ 上期の協議結果を踏まえて、2022 年度の計画を立案</p>	

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	計測部門	担当	高山部門長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画 (本組織担当分)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカー、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - 温度計測部会運営委員会 <p>2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - 先端電子計測部会運営委員会 - 第 115 回力学量計測部会行事: 力学量計測部会講演会・見学会 - 計測部門運営委員会 - センシングフォーラム運営委員会 <p>3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - パターン計測部会協賛企画・動的画像処理実利用化ワークショップ - 第 46 回リモートセンシングシンポジウム <p>5 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - パターン計測部会 Technical Sponsor: QCAV2021 - 第 150 回温度計測部会講演会 <p>6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - 力学量計測部会運営委員会 - 第 116 回力学量計測部会行事: 有機微量分析合同シンポジウム - 計測部門運営委員会 - センシングフォーラム運営委員会 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>7 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>8 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - パターン計測部会協賛、画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2021) - IMEKO2021 開催支援 <p>9 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第 38 回センシングフォーラム - 計測部門運営委員会 - センシングフォーラム運営委員会 <p>10 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - <p>11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - 第 26 回パターン計測シンポジウム - 第 151 回温度計測部会見学会 - スマートセンシングシステム部会研究会（電子情報通信学会と併催） - 第 117 回部会行事: 力学量計測部会 計量史をさぐる会 <p>12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> - パターン計測部会共同企画・ビジョン技術の実利用ワークショップ ViEW 2021 - 力学量計測部会運営委員会 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	制御部門	担当	藤崎部門長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 ・ 部門へのインセンティブルールの見直し ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>第 8 回制御部門マルチシンポジウム（MSCS2021）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE International Symposium on Control Systems 2021 ・ 第 49 回 制御理論シンポジウム ・ 第 12 回 プラントモデリングシンポジウム ・ 第 21 回 適応学習制御シンポジウム ・ 第 38 回 誘導制御シンポジウム ・ 第 7 回 システム構築と制御技術シンポジウム <p>将来構想検討タスクフォース WG による検討</p> <p>MSCS における産業応用部門との Joint OS の開催</p> <p>部門賞贈呈</p> <p>第 1 回制御部門運営委員会開催</p> <p>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>第 2 回制御部門運営委員会開催</p> <p>将来構想検討タスクフォース WG による検討</p> <p>第 9 回制御部門マルチシンポジウム(MSCS2022)の 企画・検討・準備</p> <p>部門賞の選考</p> <p>SIYA CDC 2021 の選考と贈呈</p> <p>産業応用部門大会における Joint OS の開催</p> <p>第 3 回制御部門運営委員会開催</p> <p>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	システム・情報部門	担当	高橋部門長
-----	-----------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門大会における部会・研究会とのシンポジウム共催の検討 ・ 部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備 ・ 部会シンポジウムなどの開催（適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索） ・ 部門賞選考プロセス（表彰委員会の構成・発表賞の選考）の点検・見直し ・ 部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定 ・ 活動計画実施状況のレビューと PDCA による評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化 ・ 部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討 ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのための情報発信方法の検討 ・ 会員情報 DB の整備と部門大会活性化の検討 <p>1 月 第 17 回 CI 研究会（オンライン）</p> <p>2 月 分子ロボティクス月例研究会 境界と関係性 研究例会・運営委員会</p> <p>3 月 第 63 回システム工学部会研究会 第 1 回システム工学部会運営委員会 第 24 回社会システム部会研究会 自律分散システムシンポジウム スマーターワールド研究会・運営委員会 境界と関係性 知能システムシンポ OS・運営委員会 第 48 回知能システムシンポジウム(オンライン開催)</p> <p>4 月 分子ロボティクス月例研究会</p> <p>5 月 自律分散システム部会研究会 境界と関係性 研究例会・運営委員会</p> <p>6 月 分子ロボティクス月例研究会 第 18 回 CI 研究会 第 25 回社会システム部会研究会 スマーターワールド研究会・運営委員会</p>	<p>●1～6 月 (空欄で OK)</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門大会における部会・研究会とのシンポジウム共催の検討 ・ 部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備 ・ 部会シンポジウムなどの開催（適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索） ・ 部門賞選考プロセス（表彰委員会の構成・発表賞の選考）の点検・見直し ・ 部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定 ・ 活動計画実施状況のレビューと PDCA による評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化 ・ 部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討 <p>7 月 境界と関係性 HCII OS・運営委員会</p> <p>8 月 分子ロボティクス月例研究会 第 26 回社会システム部会研究会 自律分散サマースクール</p> <p>9 月 BIOMOD 国内大会 FAN シンポジウム スマーターワールド研究会・運営委員会 境界と関係性 SICE AC OS・運営委員会</p> <p>11 月 分子ロボティクス年次大会 CI フォーラム・賢さの先端研究会 第 2 回システム工学部会運営委員会 自律分散システム部会研究会 境界と関係性 SICE SSI GS・運営委員会</p> <p>12 月 第 19 回 CI 研究会 第 27 回社会システム部会研究会 スマーターワールド研究会・運営委員会 境界と関係性 研究例会・運営委員会</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	システムインテグレーション部門	担当	野田部門長
-----	-----------------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 ・ SICE が主催、共催する国際会議（IROS2022）への開催支援 ・ 他団体表彰（FA 財団, WRS） ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門運営委員会（幹事団）による部会活動フォロー計画消化, 支部・他部門連携, コンプライアンス ・ WWW サイト情報発信 ・ 前年度部門学術講演会の会計処理フォロー ・ 当年度, 次年度, 次次年度部門学術講演会運営企画フォロー ・ 次年度部門国際会議 SII 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと次次年度以降の SII 開催地、実行委員長選定、企画運営のフォロー ・ SIYA-IROS 賞運営 ・ 部門賞募集と選定 ・ FA 財団賞ノミネート ・ 運営委員会の部門協議会に合わせた開催 ・ 部門国際会議 SII ・ 第 1 回運営委員会（1 月第 1 週予定） ・ 第 2 回運営委員会（1 月：メール審議） ・ 第 3 回運営委員会（3 月：メール審議） ・ 第 4 回運営委員会（5 月） ・ 各部会活動 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門運営委員会（幹事団）による部会活動フォロー 計画消化, 支部・他部門連携, コンプライアンス ・WWW サイト情報発信 ・表彰委員会による部門賞選定と部門学術講演会における贈賞 ・レスキューロボットコンテスト ・RT ミドルウェアコンテスト ・前年度部門学術講演会の会計処理フォロー ・当年度, 次年度, 次次年度部門学術講演会運営企画 フォロー ・次年度部門国際会議 SII 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと次次年度以降の SII 開催地、実行委員長選定、企画運営のフォロー ・SIYA-SII 賞運営 ・2021 年度体制の決定と予算策定の実施 ・本部委員の供出・情報発信 和英会誌, 学会賞, AC, 代議員 ・経産省 WRS 競技会 表彰 ・特定費用準備資金による IROS 事業支援 ・部門学術講演会 SI ・第 5 回運営委員会 (8 月: メール審議) ・第 6 回運営委員会 (9 月) ・第 7 回運営委員会 (10 月: メール審議) ・第 8 回運営委員会 (11 月: メール審議) ・第 9 回運営委員会 (12 月) ・各部会活動 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	産業応用部門	担当	小池部門長
-----	--------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・ 企業会員のためのチュートリアル講演会の企画・実施（新 WG の検討） (5.1) ・ 部門へのインセンティブルールの見直し (10.2) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 部門運営委員会 2) 新年度運営体制構築 3) 部門大会企画準備 4) 学会運營業務負荷低減策検討 5) インセンティブルール理解と利用促進 6) 制御部門マルチシンポジウムとの連携の企画・実施 7) 会員業向けセミナー開催 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・ 計装寺子屋セミナー (3 月) 8) 産業応用部門大会における制御部門 OS および その他合同企画の調整と依頼 9) 部門賞候補者推薦募集 10) 各部会・エンジニア会主催行事の準備・実施 11) 企業会員サービス委員会企画 第2回企業会員向けセミナー開催支援 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 部門運営委員会 2) 部門大会の企画確認、各種会告・広報 3) 部門大会の実施 次年度部門大会での OS 連携に向けた企画調整 4) SICEAC におけるスペシャルセッションや 関連 OS の運営・実施 5) 産業応用部門大会の実施 6) 部門賞候補者推薦 審査・決定、表彰の実施 7) 各部会・エンジニア会主催行事の準備・実施 8) 企業会員サービス WG の新技術に関する チュートリアル講演会に協力 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	ライフエンジニアリング部門	担当	塩澤部門長
-----	---------------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカ、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び 会員数拡大 ・ 国際化に向けて部門シンポジウム・研究会の国際化・海外研究者との交流等を推進 ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気生理運動学会において、研究会を実施する。 2. 日本生体医工学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で生体医工学に関する講演会を実施する。 3. 統合情報生物工学部会において、研究会を実施する。 4. 前, 現, 次期, 次次期部門長会議により, 中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。 5. 部門・部会合同運営委員会を実施することにより, 効率的な管理体制を構築し, 財務体質の健全化を図る。 6. 部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム／生体・生理工学シンポジウムを部門主導のもと、全部会の協力で実施する。 2. ライフエンジニアリング分野の若手研究者の研究を奨励するため、ライフエンジニアリング部門シンポジウム発表者の中から、優秀な研究者を選抜し、研究奨励賞を授与する。 3. 日本生体医工学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で大学院生、若手研究者を対象に、生体医工学に関するサマースクールを実施する。 4. ユビキタスヘルスケア部会において、研究会を実施する。 5. 上期に引き続き、前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。 6. 上期に引き続き、部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。 7. 上期に引き続き、部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	支部協議会	担当	鈴木議長、山田副議長
-----	-------	----	------------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信（1.2） ・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画（2.1） ・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続（10.1） ・ 新規特定用途準備資金の有効活用(10.2) ・ 部門・支部行事への参加者情報（会員/非会員）の整備および参加者動向の分析(11.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>2 月 支部協議会準備会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各支部の新体制の確認 ・ 2021 年度支部協議会・各支部事業計画の確認 <ul style="list-style-type: none"> ①支部協議会 年 4 回開催 ②部門・支部合同会議 開催有無含め議論 ③各支部現況報告および支部事業計画確認 ・ 支部再編における検討状況の確認と情報共有 <ul style="list-style-type: none"> - 甲越地区の取扱：北陸、中部支部への追加案 - 北関東支部創設：プレ活動について 等 ・ 支部活性化に関する検討状況の情報共有 <ul style="list-style-type: none"> 支部活動活性化策について： <ul style="list-style-type: none"> - MATF 検討状況報告 - 支部・部門活動好事例の共有及びその方法 - インセンティブ事業 - 部門・支部合同会議について など ・ その他 <p>3 月 部門・支部合同会議（東北大または群馬大）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部再編における検討 ・ 支部活性化に関する検討 ・ その他 <p>4 月 第 1 回支部協議会（SICE 事務局＋Web）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項：各支部付議事項の審議 ・ 各支部活動状況の確認 （周年事業準備状況確認を含む） ・ 支部再編における検討状況の確認 ・ 支部活性化に関する検討状況の確認 ・ その他 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>7 月 第 2 回支部協議会 (SICE 事務局+Web)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項：各支部付議事項の審議 ・ 各支部活動状況の確認 (周年事業準備状況確認を含む) ・ 支部再編における検討状況の確認 ・ 支部活性化に関する検討状況の確認 ・ その他 <p>9 月 部門・支部合同会議 (SICE-AC、拡大理事ワークショップ、部門協議会と併催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門・支部連携企画等の確認と情報共有 <p>9 月 第 3 回支部協議会 (SICE-AC、拡大理事ワークショップ、部門協議会と併催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項：各支部付議事項の審議 ・ 各支部活動状況の確認 (周年事業準備状況確認を含む) ・ 支部再編における検討状況の確認 ・ 支部活性化に関する検討状況の確認 ・ その他 <p>11 月 第 4 回支部協議会 (SICE 事務局+Web)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項：各支部付議事項の審議 ・ 各支部活動状況の確認 (周年事業準備状況確認を含む) ・ 支部再編における検討状況の確認 ・ 支部活性化に関する検討状況の確認 ・ その他 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	北海道支部	担当	近野支部長
-----	-------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ未来社会 WG 活動の継続 (1.1) ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) <ul style="list-style-type: none"> ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 支部会議 ✓ 第 53 回計測自動制御学会北海道支部学術講演会（日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委員会との共催） ✓ 計測自動制御学会北海道支部主催特別講演会 ✓ 共催行事：日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委員会特別講演会 ✓ 共催行事：複雑系マイクロシンポジウム ✓ 支部運営委員会 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 協賛事業：ロボットトライアスロン ✓ 協賛事業：大規模環境 3 次元計測と認識・モデル化技術集中講演会 ✓ 計測制御エンジニアセミナー ✓ 計測制御エンジニア試験への協力 ✓ 産業応用セミナー ✓ 支部運営委員会 ✓ 支部選挙 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	東北支部	担当	本間支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・支部活動に関する情報共有と円滑な運営を図ることを目的とし、総会 1 回，専門委員会 6 回を開催する。 ・支部内における研究者間の学術交流を活性化させるため，各県の大学・高専が持ち回りで計 6 回の研究集会と 1 回の講演会を開催する。 ・学会への学生勧誘策の一環として，研究発表奨励賞の授与を行う。 ・適宜共催事業・協賛事業を実施することで，学会員の枠を超えて広く社会に向けた支部活動の発信，および貢献を行う。 ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>東北支部会議（1 月）</p> <p>東北支部研究集会（第 331 回～334 回）</p> <p>若手研究者講演会（第 1～4 回）</p> <p>特別講演会（2 月）</p> <p>東北支部優秀発表奨励賞（各研究集会ごと）</p> <p>東北支部専門委員会（第 1 回～第 4 回）</p> <p>【後援事業】学都仙台・宮城サイエンス・デイ 2021</p>	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>東北支部研究集会（第 335 回～336 回）</p> <p>東北支部優秀発表奨励賞（各研究集会ごと）</p> <p>【共催事業】電気自動車エコラン競技大会（8 月）東北支部特別賞（エコラン競技大会）</p> <p>東北支部専門委員会（第 5 回～第 6 回）</p> <p>若手研究者講演会（第 5～6 回）</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	中部支部	担当	金井支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ未来社会 WG 活動の継続 (1.1) ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> ●1～6 月 (1 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部会議 ・ 特別講演会 ・ 支部賞表彰 ・ 第 1 回運営委員会・事業委員会 (2 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 52 期学業優秀賞審査 (3 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 52 期学業優秀賞表彰 (4 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回運営委員会・事業委員会 (5 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部支部技術講習会 1 (1-6 月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部研究委員会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●1～6 月

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>(7 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回運営委員会・事業委員会 <p>(9 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部支部シンポジウム <p>(10 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学会 ・ 第 52 期支部賞審査 <p>(11 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部支部技術講習会 2 ・ 若手研究発表会 ・ 第 4 回運営委員会・事業委員会 ・ 顧問会議 <p>(7-12 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部研究委員会事業 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	北陸支部	担当	小柳支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する企画を実施し, SICE の役割の明示とプロモーションを行う. ・ 支部会議やメーリングリストを活用し, 支部新設・再編に向けた意向調査を随時実施するとともに, 協議の継続を行う. ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> ● 1～6 月 1 月 新旧合同運営委員会, 支部会議, 特別講演会 3 月 優秀学生賞の募集・表彰 3 月 日本機械学会北陸信越支部 第 59 期総会・講演会 (共催) 3 月 令和 3 年度 北陸地区学生による研究発表会 (共催) 4 月 第 1 回運営委員会 6 月 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞の募集 6 月 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 学生発表助成の募集 6 月 計測自動制御学会北陸支部 優秀論文発表賞の募集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1～6 月

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>7 月 第 1 回北陸支部講演会の開催</p> <p>7 月 第 2 回運営委員会（メール審議）</p> <p>7 月 福井大学公開講座「親子で学ぶ電波の不思議な世界とラジオ製作」（共催）</p> <p>9 月 電気・情報関係学会北陸支部連合講演会の主催</p> <p>9 月 北陸支部講演会（兼電気・情報関係学会北陸支部招待講演）の開催</p> <p>9 月 第 3 回運営委員会の開催</p> <p>9 月 優秀論文発表賞の表彰</p> <p>9 月 SICE Annual Conference 学生参加助成の助成決定通知</p> <p>9 月 自動制御連合講演会参加助成の募集</p> <p>10 月 第 3 回北陸支部講演会の開催</p> <p>11 月 自動制御連合講演会参加助成の助成決定通知</p> <p>11 月 北陸先端大主催の産学官連携行事（Matching HUB Kanazawa）の後援・参加</p> <p>11 月 第 4 回北陸支部講演会の開催</p> <p>11 月 第 4 回運営委員会の開催（メール審議）</p> <p>12 月 計測自動制御学会北陸支部 25 周年事業</p> <p>12 月 第 5 回北陸支部講演会の開催</p> <p>12 月 日本生体医工学会北陸支部講演会（共催）</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	関西支部	担当	羅支部長
-----	------	----	------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ未来社会 WG 活動の継続 (1.1) ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) SICE 関西支部・ISCIE シンポジウム(1 月) (2) 支部会議(1 月) (3) 特別講演会(1 月) (4) 支部長賞授賞式(1 月) (5) 令和 2 年度 第 1 回運営委員会(4 月) (6) 令和 2 年度 第 2 回運営委員会(6 月) (7) ISCIE・SICE 関西支部 チュートリアル講座(6 月) 	

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>(1) 令和 2 年度 第 3 回運営委員会(8 月)</p> <p>(2) 会員交流企画(9 月)</p> <p>(3) 令和 2 年度 第 4 回運営委員会(10 月)</p> <p>(4) 支部長賞の募集と選考(11 月～12 月)</p> <p>(5) 令和 2 年度 第 5 回運営委員会(12 月)</p> <p>(6) 支部長賞選考委員会(12 月)</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	中国支部	担当	西村支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・支部再編を見据えた活性化と効率化のバランスを考慮した諸活動の推進 ・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守（14.1） ・新型コロナウイルス感染への的確な対応（14.2）

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 回運営委員会 1 月中旬, Web 会議にて開催 2. 支部会議（総会） 1 月中旬, Web 会議にて開催 3. 主催講演会 1 月中旬, Web 会議にて開催 4. 拡大運営委員会 5 月中旬, Web 会議にて開催 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 2 回運営委員会（臨時） 9 月中旬，必要に応じてメール会議 2. 第 3 回運営委員会 11 月下旬，Web 会議にて開催 3. 学術講演会 11 月下旬，Web 会議にて開催 4. チュートリアル講演会 12 月，開催地未定 	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	四国支部	担当	杉野支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> • Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ未来社会 WG 活動の継続 (1.1) • Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) • AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) • 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) • 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支部会議 1 月中, メール会議 議題: 支部再編に関する事項 2021 年度の各機関の担当委員選出等 2. 第 1 回支部運営会議 1 月に阿南高専にて開催 議題: 2020 年度の引継ぎ事項等 阿南高専 → 香川大学 3. LED 総合フォーラム 2021 in 徳島 2021 年 2 月 6 日にオンライン開催予定 SICE 四国支部は協賛 (2019 年も協賛) 4. 第 1 回支部学術講演会実行委員会 5 月中, メール会議 議題: 実行委員会, プログラム委員会メンバーの決定, CFP 案と今後の予定等 5. 第 1 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 5 月中に開催 → 6 月に分担金を支給 	<p>●1～6 月</p>

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>6. 第 2 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 8 月中、メール会議</p> <p>7. 第 2 回支部学術講演会実行委員会 9 月中、メール会議 各委員会の業務分担の確認 9 月末に学術講演会ホームページを公開し、講演受付を開始、目標発表件数は 60 件程度 開催日の一カ月前を原稿締切り予定</p> <p>8. 電気関係学会四国支部連合大会 (SICE 四国支部共催) 9 月中に開催</p> <p>9. 四国移動型&自律型ロボットトーナメント 2020 (SMART2020) 毎年 11 月～12 月に開催 SICE 四国支部は毎年後援 → 協賛金を支給</p> <p>10. 第 3 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 11 月中に開催</p> <p>11. 四国支部学術講演会 12 月中、徳島県にて開催 (担当: 香川大学) ※優秀な若手発表者に対して毎年表彰</p> <p>12. 第 2 回支部運営委員会 12 月中、四国支部学術講演会にて開催予定</p>	<p>●7～12 月</p>

2021 年度事業計画・実施報告

組織名	九州支部	担当	松尾支部長
-----	------	----	-------

2021 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society 5.0 の概念整理・用語整備とポストコロナ未来社会 WG 活動の継続 (1.1) ・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2) ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1) ・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (14.1) ・ 新型コロナウイルス感染への的確な対応 (14.2)

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> ●1～6 月 ・ 令和 3 年度九州支部第 1 回運営委員会（新旧合同） ・ 九州支部第 51 期支部 顧問会議（新旧合同） ・ 九州支部第 51 期支部会議 ・ 支部奨励賞発表 ・ 令和 3 年度九州支部第 2 回運営委員会 ・ 研究会 ・ 講演会 ・ 連携団体, 組織, 学会との協賛事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●1～6 月

2021 年度事業計画	2021 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE 九州フォーラム ・ 令和 3 年度九州支部第 1 回事業委員会 ・ 令和 3 年度九州支部第 3 回運営委員会 ・ 支部 50 周年記念行事＋第 40 回九州支部学術講演会 2021/11/7～11/8 を予定 記念式典(11/7) 趣旨) この 10 年を振り返り今後の指針を考える 内容) この 10 年の九州支部在籍者で顕著な活動のあった講演者 4, 5 名を講師とする講演会 学術講演会(11/7～11/8) 特別講演会と学生発表交流会を併設 技術交流会・50 周年記念レセプション 会長, 支部長経験者を招待 ・ 令和 3 年度九州支部第 2 回事業委員会 ・ 産業応用セミナー ・ ジュニア SICE 九州セミナー ・ 研究会 ・ 講演会 ・ 連携団体, 組織, 学会との協賛事業 	<p>●7～12 月</p>